

The nutritional supplementary food for emergencies

非常時・災害時

栄養補給食品

業界初から
世界をリードする
専用食品! ※1

※1 = 健康食品業界。自社調べ

がんばろう、日本!



ナイアシン
パントテン酸
ビオチン
ビタミンA
ビタミンB1
ビタミンB2
ビタミンB6
ビタミンB12
ビタミンC
ビタミンD
ビタミンE
亜鉛
鉄
銅
葉酸

GIONA Co.,Ltd.
MADE IN JAPAN

2011年3月11日私たちは、未曾有の大災害を経験しました。

そこで、多くの尊い命が失われ、防災に対する意識も『どこか遠くのお話』から『今、ここで起きても不思議ではない事』に大きく変化しました。

しかしながら『東日本大震災』以降、災害が減ったかと言えばそうでもありません。報道により、地震や津波対策はそれなりに進んだ様にも感じますが、実際には遅々として進んでいないのが現状です。

更に追い討ちをかける様に毎日の様に日本のどこかで災害が起こっています。

自然災害は地震や津波だけではありません。

ゲリラ豪雨や台風によって引き起こされる洪水等の『水害』

竜巻や突風による『風害』

降雪や地吹雪・雪崩などによる『雪害』

桜島をはじめとする火山の噴火による被害等。

誰もが、明日『被災者』になり得るのです。

そうなったとき最初に直面する問題に食料問題が挙げられます。最近では、炊き出し等で『被災後』1週間もすれば、食料の偏在も大分解消され、ある程度空腹を満たすことは可能です。

問題はその他にあります。4日目以降にビタミンやミネラル欠乏による問題が出てきます。特に疾病者・高齢者・乳幼児・小児はかなり早い段階で表面化します。

その後、健康な成人も次々とビタミン・ミネラルの欠乏により循環器系・神経系・免疫系・内分泌系・脳循環の停滞の結果、感染症・血栓症・うつ・心臓や腎臓等の様々な臓器の機能低下を招きます。ビタミン・ミネラルの欠乏はすぐには気づきませんので、気づいた時には手遅れ・・・という事も少なくありません。

日が経つにつれ被災地から伝わってくるのはこのようなニュースが多くなってきます。

「このような不満と不安を一気に解消したい」「災害時の安心安全を確保したい」という、これらの声に応じて開発されたのが

『**非常時・災害時 栄養補給食品**』

なのです。

「なぜ、栄養機能食品でなければダメなのか…」



被災時の対策..!

あなたは油断してませんか?!

■ 非常時・災害時の食料…あなたは何を用意していますか?

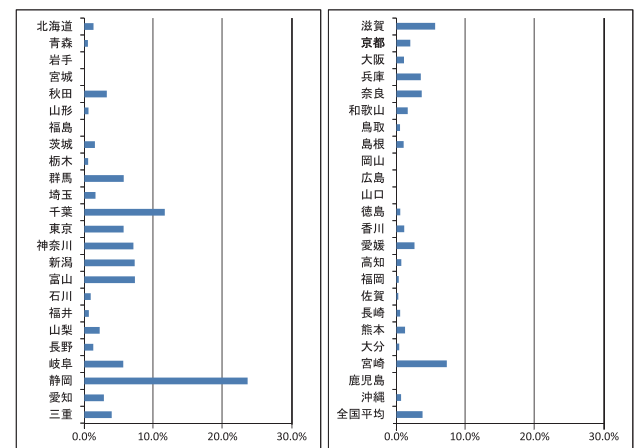
昨今では、保存技術の進歩に伴い、水・カンパン・缶詰だけでなくレトルト食品・水で食べられるお米(餅)・パスタ・パン…量さえ用意できれば、1週間くらいは飽きずに美味しく満腹になれる食料は用意できるでしょう。

しかし現状では、十分な食料の備蓄がなされておられません。

主な理由としては、危機感の希薄さを始め、費用・保管場所・種類の選択など、大災害を経験しているなかでさえ殆ど備えられていないのが食料です。

たとえ、蓄えが有っても電気・ガス・水道などライフラインが止まるとたちまち危機に襲われます。

都道府県別の食料備蓄状況



(各数値は都道府県の備蓄と市区町村の備蓄の合計を示す。なお、岩手県・宮城県・福島県についてはデータがない)
参考文献: 総務省消防庁・地方防災行政の現況(平成23年2月16日公表予定)を基に科学技術動向研究センターにて作成

本当に足りているもの、足りていないもの。

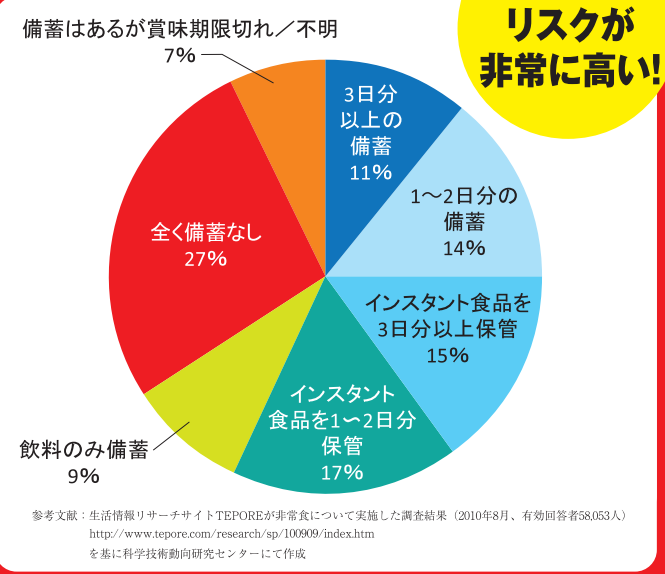
■ 二次災害を回避するために

非常時・災害時のもっとも恐ろしい現状は、栄養の問題です。仮に満腹になっても塩分過多や各種栄養素の欠乏により体力減退・疲労蓄積・衰弱・疾患の悪化・発病・ストレスなど、監督官庁や都道府県・保健所などの調査でも被災地に於ける避難所の生活は**災害を免れても栄養失調災害が待っている状況**です。

そこで、医療用・健康用の栄養補給食品専門のメーカーとして、弊社は、非常時・災害時での危機的栄養状態を改善するために商品開発をする必要がある! という結論でした。

実情はこのような状態なのです

日本の家庭における食料の備蓄状況



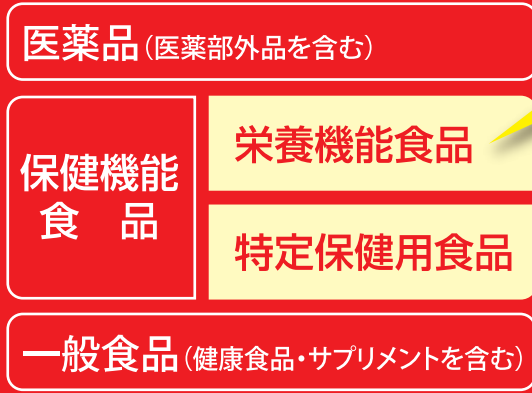
栄養失調のリスクが非常に高い!

参考文献: 生活情報リサーチサイトTEPOREが非常食について実施した調査結果(2010年8月、有効回答者58,053人)
<http://www.tepore.com/research/sp/100909/index.htm>
を基に科学技術動向研究センターにて作成

栄養機能食品にこだわる理由

■ サプリメントではなく、栄養機能食品を採用した理由

栄養機能食品の位置づけ



栄養機能食品

- 国が定めている栄養素なので安心
- 国が定めている規格基準なので安心
- 栄養成分の機能や効果を表示することができる

■ 栄養補給食品として

- 各種ビタミン・ミネラルを含め国が定めた栄養機能食品を一つにまとめてあること
- 栄養機能食品の栄養素を長期間担保されていること
- からだへの機能・効果を表示できるもの

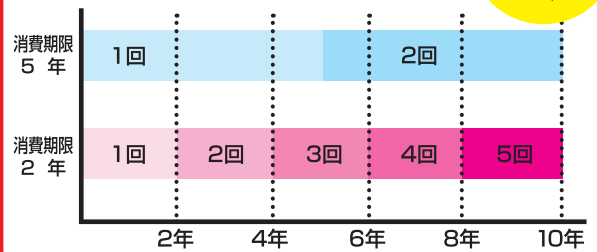
■ 無視できない備蓄コストの負担

10年間、使用することなく過ごせた場合

買替え回数

消費期限5年の商品…1回
消費期限2年の商品…4回

10年間、未使用の場合



栄養機能食品 全17種類

■ 栄養成分表示

1包(2.0g)あたり(製造時) ※ (%)は栄養素等表示基準値に占める割合

エネルギー……………7.1kcal	ナイアシン……………22mg(200%)	銅……………0.6mg(100%)
たんぱく質……………0.11g	パントテン酸……………11mg(200%)	亜鉛……………7mg(100%)
脂質……………0.03g	葉酸……………200μg(100%)	セレン……………23μg(100%)
炭水化物……………1.61g	バイオチン……………90μg(200%)	クロム……………30μg(100%)
ナトリウム……………0.78mg	ビタミンA……………450μg(100%)	マンガン……………3.5μg(100%)
ビタミンB1……………2mg(200%)	ビタミンC……………80mg(100%)	ヨウ素……………90μg(100%)
ビタミンB2……………2.2mg(200%)	ビタミンD……………5μg(100%)	モリブデン……………17μg(100%)
ビタミンB6……………2mg(200%)	ビタミンE……………8mg(100%)	カルシウム……………50mg
ビタミンB12……………4μg(200%)	鉄……………7.5mg(100%)	マグネシウム……………28.6mg

上記成分中13種類は最低5年間の栄養機能食品の規格基準を満たします。

採用者様の声

「非常時・災害時 栄養補給食品」のご採用者様の声を掲載しています

民間企業

- ・3.11を教訓に各社員、机の引き出しには必ず1袋づつ入れさせようと思います。外回りの社員にも営業カバンに1袋入れるように徹底したいと考えております。
- ・かさばらないので、狭い社内でも邪魔にならないし、長期保存が可能なのでとても助かります。
- ・東日本大震災の時には、多くの帰宅困難者も出しました。今年(平成25年)4月から施行された東京都の『東京都帰宅困難者対策条例』にあわせて採用を決めました。
- ・今までは栄養機能性食品を謳っていても、定められている栄養素が全種類揃っているものが見当たりませんでした。なかなか満足のいくものに出会えなかったのですが、これなら、栄養素が全て揃っている上に消費期限が5年と長いのも決め手になりました。

介護施設

- ・入居者様は、高齢の方ばかりです。災害を免れてもその後には必ず訪れる栄養不足。その結果運動不足になり筋力も衰え寝たきりに…。いつまでも元気で居てほしいので…。

マンション管理会社

- ・いざという時、住人の安全と健康が心配なので、導入を決めました。

スポーツ用品店

- ・最近の登山ブームで初心者の方もよく来店されますが、是非、お守り替わりに携帯してほしいですね。

学校・教育機関

- ・体育館が災害時には地域の避難場所にも成るので、備蓄する事にしました。保護者の方からも大変ご好評いただいております。

ホテル

- ・宿泊者様以外にも普段から大勢のお客様が出入りされているのと同時に、非常時にはその他にも多くの方の待避所にもなります。普段からより多くの方の安心できる場所でありたいとの思いもあり、水と同時に3000名様分の備蓄を決めました。約200万円で最高の安心をご用意できましたので、大変嬉しく思っております。

自治会・防災対策委員会

- ・毎年必ず防災訓練をしています。3.11以降は住人の防災意識の高まりも感じる事ができますが、避難した後の事はあまり考えていませんでした。先日、新聞で避難所ではビタミン・ミネラル不足による『肺炎』・『心疾患』・『脚気』・『感染症』等が問題になっていると云う記事を読みました。そのリスクを少しでも減らせればと思います。又、長期保存も魅力ですし、期限が迫ってきたものに関しては、地域のバザーに出店し防災意識の向上に役立てたいと思います。
- ・280世帯 870人程の自治会員で構成されていますが、最近では高齢化が進み災害時の栄養状態の不安もありました。限られた予算の中で、災害にどこまで満足のいく対策が出来るか不安でしたが、全員分確保することができました。

寄付

- ・生まれ育ったA町と今住んでいるB市に各1000人分寄付させていただきます。確定申告で還ってきますね。この寄付が無駄になるといいですね(笑)

栄養機能食品とは・・・

人間の生命活動に不可欠な栄養素で、科学的根拠が医学的・栄養学的に広く認められ確立されたものです。現在は、ミネラル 5 種類、ビタミン 12 種類について、規格基準が定められています。

☆『栄養機能食品の表示の対象となる栄養成分は、人間の生命活動に不可欠な栄養素で、科学的根拠が医学的・栄養学的に広く認められ確立されたものです。』

(東京都福祉保健局のホームページより抜粋)

☆賞味期限内は1包の中に1日当たりの摂取目安量に含まれる栄養成分が、国の定めた上・下限値の規格基準に適合している場合で、その栄養成分が表示できます。

災害用伝言板サービス・・・

携帯電話大手3社の災害用伝言板サービスへ簡単にアクセスが出来るよう、QRコードが付いているので安心です。災害用伝言板とは災害が発生した時に、家族や友人などと安否の確認ができるサービスです。ご自身の安否情報を文字で登録でき、登録された安否情報は携帯電話やパソコンから確認いただけます。

災害用伝言板 QR コード



『非常時・災害時 栄養補給食品』に関して・・・

お問い合わせ先



企画・製造・卸

株式会社 ジオナ

〒662-0978 兵庫県西宮市産所町15-14 西宮ロイヤルビル

ホームページ <http://www.giona.co.jp/> Eメール saigai@giona.co.jp



0798-31-1878



0798-31-2247